



遠藤れい子ひまわりレポート

○遠藤れい子事務所 〒940-0052 長岡市神田町3-1-3
☎ 0258-32-1741 fax 32-6443



命・暮らしを守る

再び戦争を起こしてはならない！ 長岡空襲殉難者追慕の集い(7月1日) 「悲惨な体験を語り継ぎ、平和を希求する」日！



7月1日、長岡空襲殉難者追慕の集いが開催されました。戦後78年、戦争・長岡空襲を経験した方は少なくない、現在は8人の語り部さんが学校の平和学習や資料館での語りを頑張っておられます。

空襲で姉を、戦地で兄をなくした池田ミヤ子さんは、「当たり前前に学校に行き、当たり前前に姉と歌を歌っていたのに、8月1日午後10時30分からたった1時間40分の空襲で、それまでの当たり前がすべて壊された。命を大切にしてください。」と中学生に語り掛けました。



アオーレ長岡で、遠藤、笠井

長岡戦災資料館は「昭和20年、夏の日を忘れない」と空襲の惨禍を語り継ぎ、平和を希求する思いを伝える資料館です。設立から20年が経ち、令和7年には、互尊文庫にリニューアルして移ります。

初代館長の古田島さんは、いかに語り継ぐか「空襲の記憶を絵に」「遺影を掲示」などに反対意見もある中取り組みました。被災者からは「悲惨な光景を思い出す。血の匂いを思い出す。50年たってからようやく描ける。」と画集も出版されました。

絵からは、死体を焼く匂いも感じられるようなすごい迫力で伝わってきます。戦争は起こしてはならない。日本はこれまで戦争をしてこなかった。これからも当たり前前の暮らしができる平和の日本であり続けなければならぬ。戦争の準備、「大

絵からは、死体を焼く匂いも感じられるようなすごい迫力で伝わってきます。戦争は起こしてはならない。日本はこれまで戦争をしてこなかった。これからも当たり前前の暮らしができる平和の日本であり続けなければならぬ。戦争の準備、「大

軍拡や武器の共同研究」、攻撃能力のある武器の輸出を進める」などまるで死の商人への道を進んでいるかのような動きがいかに危

除か、戦争を知らない国のリーダーたちは、何を考えられているのか。ストップをかけなければならぬ。と強く感じました。(遠藤れい子)

原発ゼロ長岡市民ネット主催

米山さんと検証総括を語る会

6月24日、遠藤れい子前県議は原発ゼロ長岡市民ネット主催「米山さんと検証総括を語る会」に参加しました。

事は、すべての総括委員を解任、総括委員会を無くし、代わりに県が総括をするに変更した。

米山さんは、検証委員会設立の目的は、福島原発事故を3つの視点：技術委員会、避難委員会、生活と健康委員会から検証する。それを検証総括委員会です。とめ、事故原発と同じ構造で、世界最大の柏崎刈羽原発の再稼動について

現在はシミュレーションの技術は格段に向上し、原発事故を想定したシミュレーションを徹底して行えばどこまで避難できるか、安全に避難するにはどのくらいお金が必要かなど、具体的に住民が判断できるデータを示すことはできる。徹底的な検証をすべきだ。

遠藤れい子の笑顔でファイト

て、県民が自分事として考えることができるよう判断材料を示すことだった。ところが花角知

それをしない花角知事は責任放棄して、このまま

